

社会調査実習報告会@田川市中小企業振興ビジョン取組報告会【学生感想】

- 社会調査実習を通して、田川市の中小企業の関係者とお話しする貴重な機会が出来てとてもいい経験になりました。ソーシャルビジネスについて調査する中で自分の知らなかった田川市の課題に気づくことが出来ました。また、たがわ planners の高校生の活動発表を聞いて、若者が地域を盛り上げていくことの良さを感じました。これからも何らかのかたちで田川市振興に携わっていきたいです（公共社会学科 R.M）。
- 各部長の方々のお話を聞き、どのような取り組みが実際に行われているのかを知り、自分が田川で暮らす若者として、どのような形で地域に貢献できるかを考えることができました（公共社会学科 Y.U）。
- 私たちの担当した第4部会はキャリア教育を行っており、「今後危ないですよ」という危機感をどのように伝えればいいのか直前まで迷っていた。その結果、最後の「このままでは危ないです」につながりました。懇親会の際、ほとんどの方から「よかったよ」、「かましたね」、「危機感を感じた」という言葉をいただいたため、とてもうれしく思うと同時に、この調査実習に関われてよかったと思いました（公共社会学科 D.S）。
- 私は田川の中小企業の外国人労働者雇用意欲に関する調査、分析を行いました。社会調査実習での地域の課題を考える活動を通して地域貢献に携わりたいという思いが生まれました。この実習は社会調査士の資格を取ることができる他に、実習の経験が就活のガクチカとして話すことができるという大きなメリットもあります。約1年間の実習はキツいこともありましたが、報告会を終えてみるとやり切ったという達成感に包まれました（公共社会学科 F.S）。
- 私たちの調査の報告を多くの方に向けて発表することができ、とても貴重な経験になりました。田川市産業振興会議の部会の方に経営などに関する様々なことを教えていただきながら、田川市の中小企業の調査・分析を進めていき、現状や提案を伝えることができよかったです。また、田川市産業振興会議における実際の活動報告をお聞きし、田川市が丸となって地域を盛り上げていっていると実感しました。中小企業は思っている以上に地域に密着しており、地域の発展に大きく関わっていると思いました（公共社会学科 S.N）。
- 私達の班は、先行研究の方向性が間違っていたため、一度、はじめから先行研究をやり直すという過程がありましたが、産業振興会議関係の方からの意見も取り入れながら、事例やKIBITTEにおける案などの紹介ができ、良い報告ができたのではないかと思います。また、田川plannersの取組みや、産業振興会議の実際の取組みなど、興味深い内容も知ることができ、大変有意義な報告会だったと感じました（公共社会学科 M.U）。
- 私は福岡県外からこの田川市にやってきた身だから、田川市に対しては何も知っていることがなかったし、愛着もなかった。だけど今回の調査実習で田川市のことを思えば1年間活動しこれまでより愛は芽生えた。人に自慢することもできる活動に参加できて、田川市の方から感謝されるようなことができ、とても嬉しく思う（公共社会学科 Y.W）。
- 今回の報告会で自分たちの調査の報告が無事できてよかったです。他の報告も興味深い内容で面白いなと感じました。自分は田川Plannersについて詳しくは知らなかったのですが、今回の報告で理解が深まったと思います（公共社会学科 H.K）。
- 約1年かけて、田川市の中小企業についての調査を行い田川の実態を知ることができました。実際に田川市の中小企業で働く方が、どのような思いで今の田川を捉え、将来どのような田川にしたいかという貴重な意見を聴くことができよかったです（公共社会学科 N.U）。

- 報告書について構想を練り始めた前期の最初のころは、ちゃんと報告書ができるのか不安でいっぱいでした。1年間を通してなんとか完成させることができ、とても達成感を得ました。何より実際に田川市のために動いていらっしゃる方々と直に交流をすることができ、皆さんの田川を良くするためにはどうしたいかという熱い想いを感じることができたため、私たちもその想いに応えようと報告書作成に努めることができたと思います。また、報告会では今まで交流を深めていた産業振興会議の方々だけでなく、たがわplannersや中小企業経営者の皆様も田川市を変えようと考え動いていらっしゃることを知りとても感銘を受けました。私たち、将来地域を担う者が今から少しでも動き始めることがとても大切なのだと学びました。私も何か地元のために貢献できることはないかなと考えることができ、とても有意義な時間でした。1年間ご指導ありがとうございました（公共社会学科 Y.S）。
- 報告会では、1年間調査してきたことを大勢の方々の前で発表できてよかったです。又、懇親会では市長や企業の社長さんと話す機会があり、今後に繋がる経験ができました（公共社会学科 R.N）。
- 緊張はしなかったけど、発表が終わった後顔が熱くなっていました。1年間の講義と最後の発表の中で、色々な年齢の人達と交流できて、自分の将来にとってとても良い経験になったと思います（公共社会学科 K.Y）。
- 大変だったけど田川市の中小企業のこれからの役立つような調査ができて、それを報告会で報告するという貴重な経験もできたので、やってよかったと思いました（公共社会学科 M.T）。
- 人前で発表する事が今までほとんどなかったのでも緊張しましたが、調査実習を通して自分達が伝えたいことを発表できて良かったと思っています。また、このような機会は滅多にないため、自分にとってとても大切な経験になったと感じています（公共社会学科 K.I）。
- 仮説の構築から分析、報告書作成からの報告会、今回の実習での全ての過程において想定通りに事が運んだことの方が少なかったです。しかし、そうなった時にどうするか、頭を悩ませながら時に相談し協力すべきところは協力しあい目的を達成できたのはとても嬉しかったです（公共社会学科 K.Y）。
- 1年間の調査実習を通して、田川市についてより知ることができ、自分自身にとってもよい経験となりました。田川市に少しでも貢献することができたのではないかと達成感もあります。また報告会では、田川プランナーズのような地域密着型の活動にとっても感心しました。企業の方々や市長さんに関わる貴重な機会を頂き、今後活かしていきたいと思えます（公共社会学科 M.Y）。
- 中小企業の実態について専門的かつリアルタイムで調査できたのは間違いなく貴重な経験でした。実際にアンケートを1から作ること、集計し分析することでより身近な調査ができ、より問題や現状を知ることができました。中小企業に新たな取り組みや体制がとられていることを、データや文章だけでなく、実際に取り組んできたり、取り組もうとしていたりしている方々の話を直々に聞くことで、自分たちが行った調査と結び付けて考えることができました。また、田川プランナーズの活動を知ることができて、調査でも触れられなかった田川市の一面に触れることができ、田川市をより深く知ることができました（公共社会学科2年 M.K）。
- 1年を通して田川市の中小企業の現状を調査し、自ら分析を行うことで、田川市を今までより身近に感じることができました。また、報告会で田川市産業振興会議の方々のお話を聞くことで、どのような取組をおこなってきたか、これからどうすべきかを知ることができ、私たちが行った調査の内容も合わせて田川市の未来について考える良い機会になりました（公共社会学科2年 H.S）。